

一般会計予算に反対!

■市財政は厳しい状況



歳入・歳出総額が過去最高額となった
2020年度予算は、市税収入減、財政調整基金減など、
市財政の厳しい状況を示す数値が並びました。



■安心安全を実感できる事業展開を!

マイナンバー関連費は2億円以上。制度に隠された
数々の危険性や自治体などの負担が十分に周知され
ず利便性だけが強調されていることに、危機感を覚え
ます。小中学生の真夏のオリパラ観戦は、熱中症対策
が心配です。低学年だけでも辞退するべきと考えます。

■弱者に寄り添う事業を!

総合福祉センターの移転は、浸水地域である京王
多摩川駅周辺が有力候補となっていますが、利用者・
市民に十分な情報提供をした上で、丁寧な対話を通し
て進めることを求めました。重度の障がいのある子ども
も受け入れるゆずのき学童には送迎サービスも提供さ
れることとなり、高く評価できる市独自の事業です。通
級や、特別支援学級利用児童数が多い時で1000人に
達する現状の下、この学童での実践が教育にも波及す
るよう、更なるインクルーシブ教育の発展を求めました。



新型コロナウイルス感染症対策を 求める意見書 全議員で提出!

衛生消耗品確保や供給の支援、休校期間中の子どもの居場所や学習機会の確保への支援、医療体制、コロナウイルスの検査や相談体制の強化、影響を受ける事業者や雇用者への支援、市への財政支援、市や関係機関への迅速な情報提供など、7項目について、国と都に要望を出しました。不安の多い毎日ですが、私たち一人ひとりも感染拡大防止のためにできることを考え、行動していきましょう。



戦後復興中に植えられた街路樹がこれから寿命を迎えます。倒木事故も起きているため、日常的な管理が重要です。そこで、市は街路樹管理計画を策定する方針だということを確認しました。強剪定は樹木を弱らせてしまいますし、市民としてもあまり気持ちは良いものではありません。安全性と合わせて、樹形などの景観面にも配慮した、市民感情に優しい管理が計画的に行われるようチェックしていきます。

街路樹管理計画に着手

国民健康保険条例改正と予算に反対

■保険料が引き上げに!



年々、市の一般財源への負担が増加する国民健康保険。国から赤字を削減するようにと要請があり、保険料を引き上げるための条例改正案が出されました。

■加入者にとって深刻な問題!

国保加入者の約8割は無職や非正規雇用です。しかし、保険料は中小企業の協会けんぽより高く、また均等割りのため、子どもが多い世帯ほど負担が大きくなります。フリーランスや非正規労働の方の生活は厳しい状況ですし、保険料が増額による負担増加は深刻な問題です。

■保険料増額によらない対策を!

国や都に対して補助を増額するよう市から働きかけるとともに、国保の制度そのものを、今の多様な働き方に対応するものへと改定することが第一です。

種苗法に関する陳情、 海洋プラスチック対策を求める陳情など 4件が廃案に



提出のあった5件の陳情のうち4件が、所管の委員会で審査された段階で、委員6名（委員長を入れて7名）の態度が採択・不採択・趣旨採択の3つに分かれ、いずれも過半数に満たなかったため、廃案になりました。廃案になると、最終日の本会議にもかけられず、市議会によりでは全議員の欄に「一」が表記され、それぞれの態度が市民には見えなくなってしまいます。陳情は、議会に寄せられる市民の切実な訴えです。少なくとも会派の態度を示すべきであり、今後の議会改革の課題の一つだと考えます。



建設委員会報告



市内でも年々深刻になっている空き家問題に対応するために提案された、「調布市空き家等の対策の推進に関する条例」を審査しました。周囲に危険を及ぼす可能性がある場合に備えて、市が緊急安全措置を講じができる内容も盛り込まれています。まずは、空き家にしないことが重要です。早め、早めの相談を。



空き家条例を制定



周辺住民の理解を得てから 5G携帯基地局の設置は

5G携帯基地局からの高周波の電磁波は、健康への悪影響が懸念されており、スイスでは使用停止となりました。市内へのアンテナ設置に当たっては、住民への丁寧な事前説明を事業者に要請するよう、強く求めました。